

全国の皆様へ

東北地方太平洋沖地震に対する緊急支援のお願い ②(2011.3.14 14:06 更新)

この度の東北地方太平洋沖地震・大津波で被害に遭われた被災者支援のために、弊社(株式会社危機管理教育研究所)では、NPO国境なき技師団やNGOと連携を検討し、支援活動にむけて準備をしております。

●岩手県

盛岡市で助産師をされている被災者の女性から被災地の情報と支援のお願い情報が入っておりますのでお知らせいたします。

- 1、初めの情報では「陸前高田が壊滅的」との事で、他の地域は被害が少ない?と楽観していたが、山田町・大槌町など、現場に駆け付けた方が、被害が大きく絶句したとの事。町の形は全くなく、瓦礫の山。車も散乱しており、トラックや重機が逆さになっていたりする。
- 2、釜石では、消防隊員が水門を閉めに行っている間に津波が来て、多くの団員や警官が波にのまれた様子。
特に、大槌町は役場が津波にのまれ、町長以下役場職員の消息が不明なため、機能がマヒしている。
- 3、地震からすぐに津波が来て、地震から20分程度に押し寄せた第2波が一気に町をのみこんだため、逃げるだけで精いっぱいだった。
- 4、高台の民家に沢山の住民が避難しており、布団や暖房が不足している。ストーブが不足しており、たき火をしているが、燃やすためのマキが不足している。がれきは水を含んでいるために薪にならない。
体育館に避難したひとつの中には、ステージの幕やカーテンを切り分けて毛布代わりにしている所もある。
- 5、避難者は高齢者が多く持病をもっている方も多い。携帯電話を持っていない人が多く、安否確認が困難。

- 6、道路は亀裂や段差があるところも多く、沿岸に向かう道路の一般車両の乗り入れはできない状況。沿岸は道路もめちゃくちゃで、ガソリンもない状況。
- 7、食事は、全く取れない避難所、一日おにぎり1個程度の避難所など。
食事・水・オムツ・ミルク・衣服・薬（胃薬・風邪薬など）・寝具などすべてが不足している。
- 8、子どもたちに「嘔みつき」や「興奮」などの症状が目立ってきた。
- 9、保育園ママの間で「福島原発のキノコ雲が、風で仙台や岩手に流れ被ばくの可能性あり」とのメールが流れています
- 10、避難所の名簿は、報道の方、避難者が持ちだした分のみラジオで放送されております。
- 11、携帯の基地局もやられて圏外だし、公衆電話もないし、ラジオだって聞けないし、「とにかく、無事を知らせたくても無理！手段がない！」のです。

※こちらの情報は、ラジオに出演した方、IBCラジオのリポーター（毎日現地に入っている）が口々にお話してみえた事をまとめたもので、大槌町・山田町より個人の自宅に避難した方からの声がほとんどです。（避難所ではなく個人の民家に避難している地域住民の方には支援が届いていないということです）

陸前高田・釜石地域の方は、比較的まとまって公共施設に避難しているのかもしれませんが。行政機関がマヒしているといわれている大槌の状況が悪い様です。今朝も早くから、自衛隊が孤立している方の空輸を開始したとの放送がなされています。

●福島県

相馬市、浪江町での救援活動をされている方からの情報です。

被害は甚大ですが、救援が岩手や宮城に集中してこちらに入っていない。水は入ってくるが食事が足りない。おにぎり1個で過ごしている。毛布もない。避難者のストレスは大きく、医療関係者が入ってくることを希望している。救援者が入ってくることに感謝して涙を流している。PTSDの症状も出始めている。早急な食事とメンタル面の支援が必要。携帯電話もつながらず、被災者はほとんど正確な情報を得ていない。ぜひ力を貸してほしい。支援物資は全く足りていない。ここからが被災者の本当の勝負になる。

被災地から皆様にご支援していただきたいもの

活動を支援していただきたく、下記の通り皆様の善意を賜りたいと存じます。個人でも園、学校、企業、各種団体・組織などの広く皆様からのご支援をお願いいたします。

1、長靴、運動靴（どちらも未使用なものをお願いします）

気のみ着のまま逃げたので、裸足に近い状況。片づけをするのに長靴・手袋が必要。報道では「オムツ・ミルク」と強調されていますが、いのちからがら抱っこして来た様子の母子の姿が映し出され、裸足やサンダル履きの母も多い状況です。

2、おんぶ紐、スリング

おんぶ紐・スリングなどは、母子が避難している場所ではもれなく不足している様です。宅配便・ゆうパック共に東北地域へ荷物の制限がなされており、被災地への一般車両の乗り入れが制限されていることから、有志が軽トラックを準備&県庁から許可をもらい、ラジオで呼びかけをして物資を募り、現地に届けるという活動が始まりました。

3.毛布、カイロ、水、食料など

今朝、テレビでは「食事に不足は無い」「物資は足りている」というリポートが流れていましたが、個人の家を避難所に行っている方は、食料や暖に欠ける様です。しかし、これは避難所が特定できずに救済が受けがたいと思われれます。そして、これらの避難所には通信の手段もない現状です。

4.その他

紙おむつ(大人用、子ども用)、災害用トイレ、トイレトペーパーなど

【申し込み、問い合わせ】

メールタイトルに「東北地震支援」として、本文に希望支援内容 お名前(ふりがな) または企業、団体名、担当者名、ご住所、電話番号(緊急連絡先もお願いします)Eメールアドレスを記載の上 touhokujishin@kunizakinobue.com までメールをお願いします。

【支援希望内容】

い)物資 上記の支援物資の無償提供を求めています。

「物資」の内容、量、いつごろ発送できるかも忘れずにお知らせください。「物資提供」とご明記の上メールをお願いします。 配送先住所をお知らせいたします。

ろ)義援金 メールで「義援金」の希望をお知らせ下さい。

募金先口座 ゆうびん局 ゆうちよ銀行

口座記号番号 00170-5-472909

加入者名 特定非営利活動法人 国境なき技師団